



中央競技団体現況調査(2010) 調査結果の紹介

2011. 7. 4

早稲田大学 武藤泰明

問題意識：日本の中央競技団体に関する 情報の集約

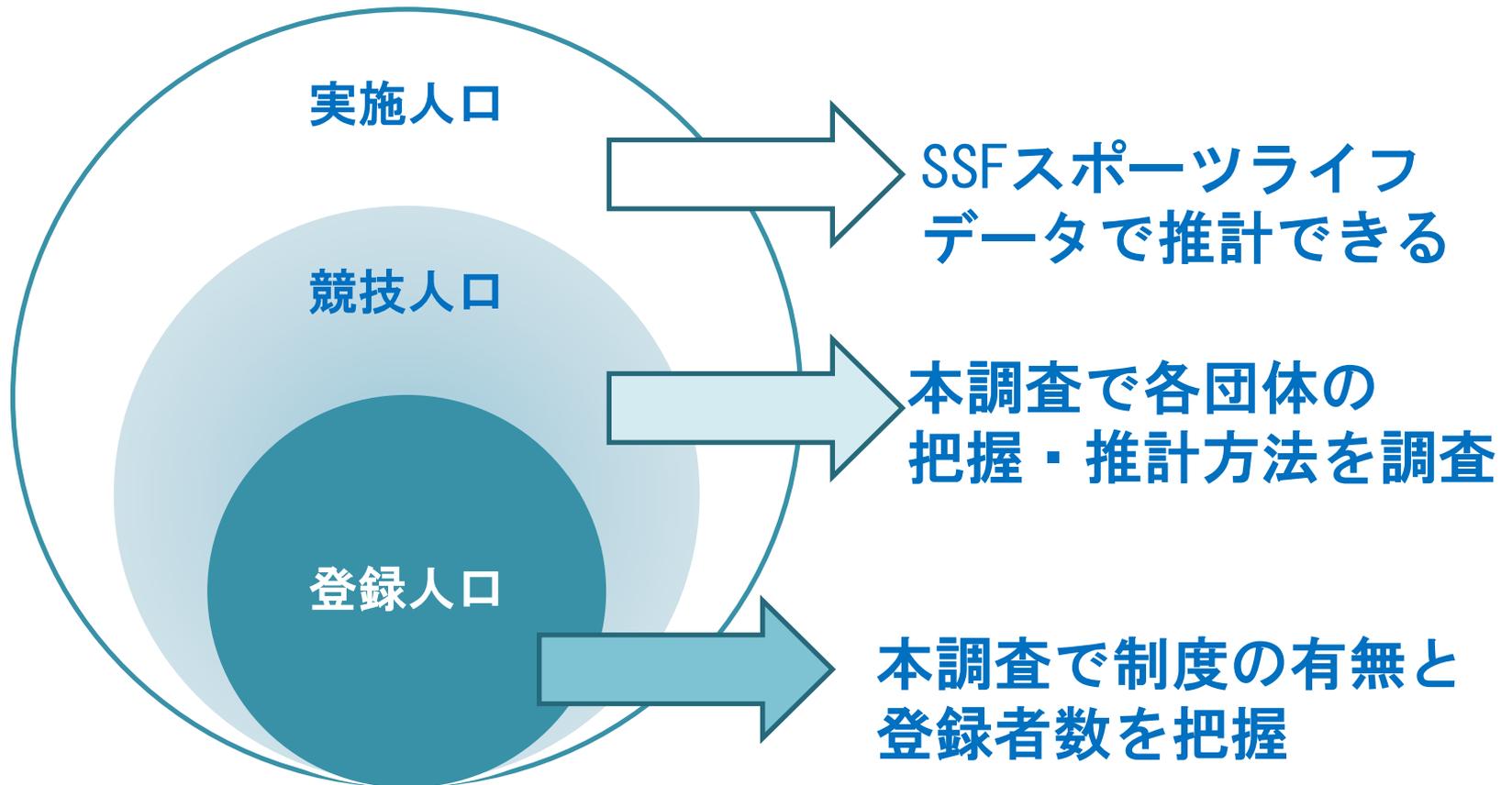
方法：日体協、JOC、ワールドゲームズ協会に所属する84団体に協力を依頼

⇒79団体についてデータを収集

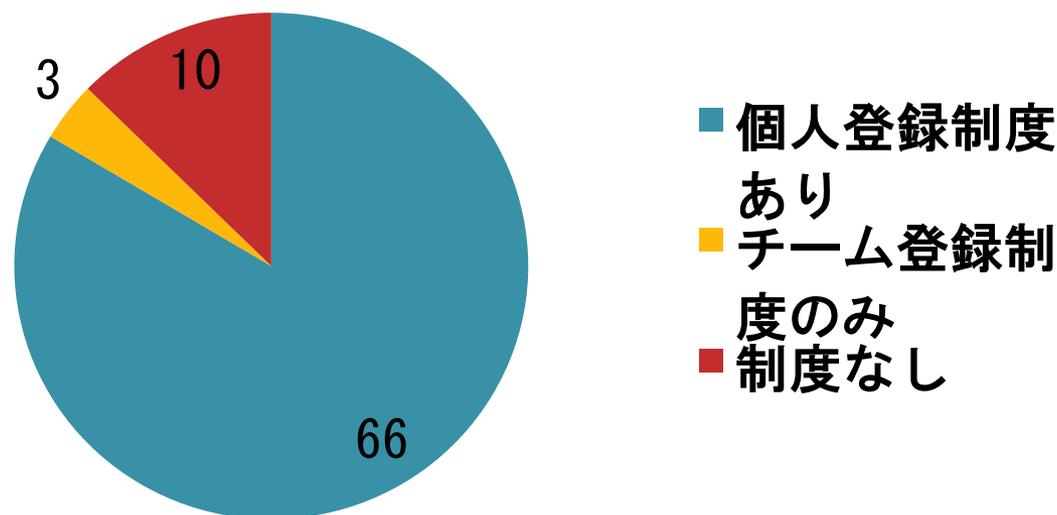
主な

調査内容：登録制度、役職員、予算

I 登録制度



登録制度の有無、登録者数

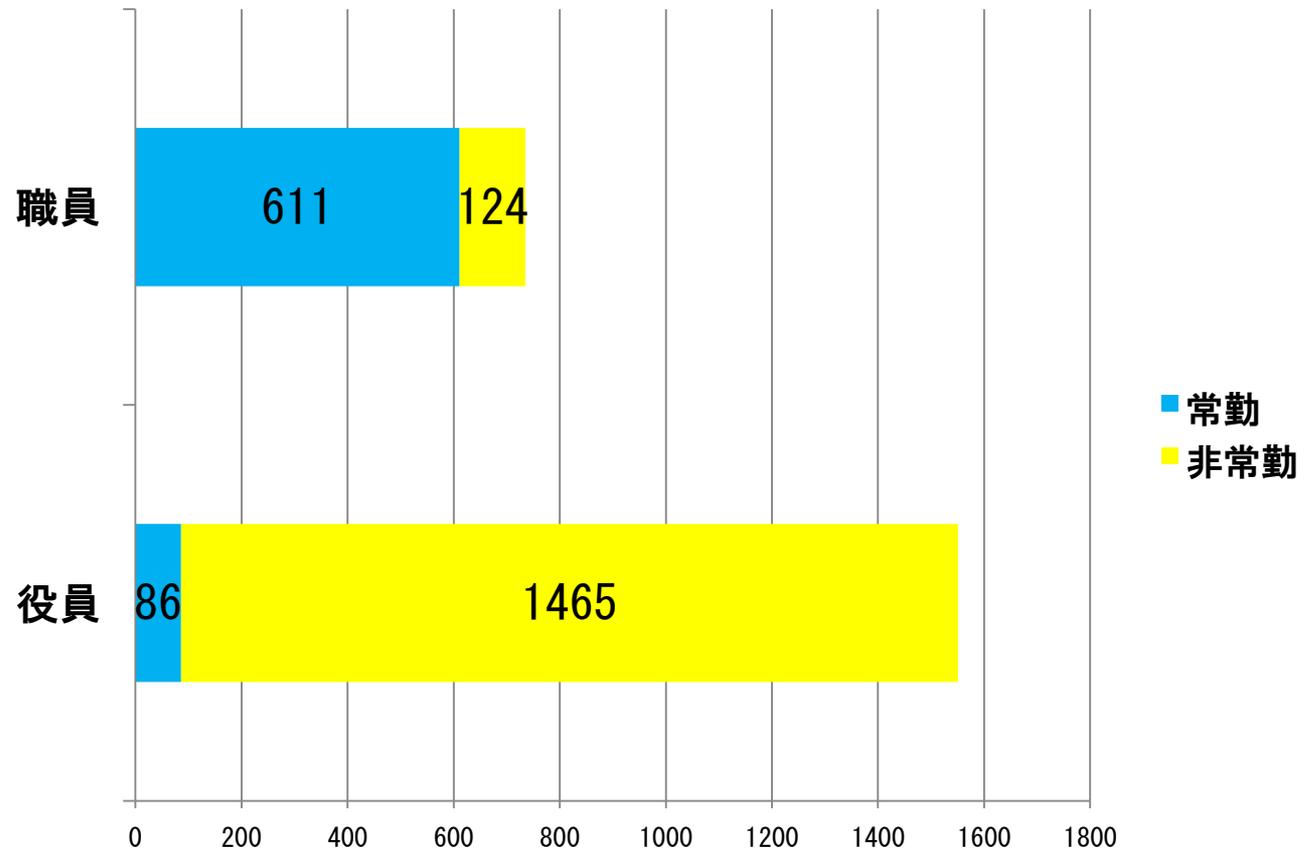


- 多くの団体に登録制度がある
- 推定登録者数（チーム登録者含む）は600万人⇒人口の約5%

登録者数(個人)の多い競技

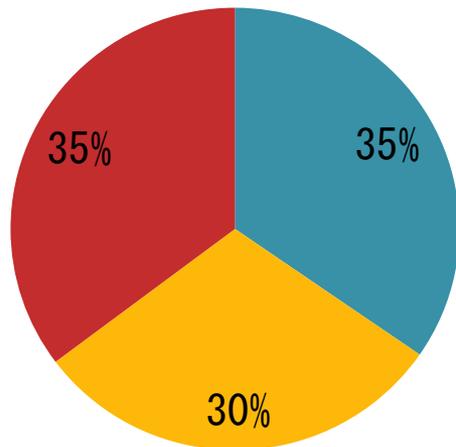
- サッカー 888,916 (人)
- バスケットボール 616,839
- ソフトテニス 461,508
- バレーボール 429,830
- 卓球 300,096
- 陸上競技 261,265
- バドミントン 240,613
- 合気道 227,596
- ゲートボール 206,292
- グラウンドゴルフ 191,475

Ⅱ 中央競技団体の人的構成

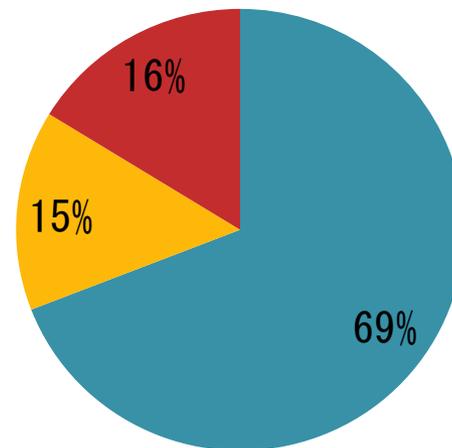


常勤役職員の競技経験

■ 競技経験なし ■ あり ■ あり(全国レベル以上)

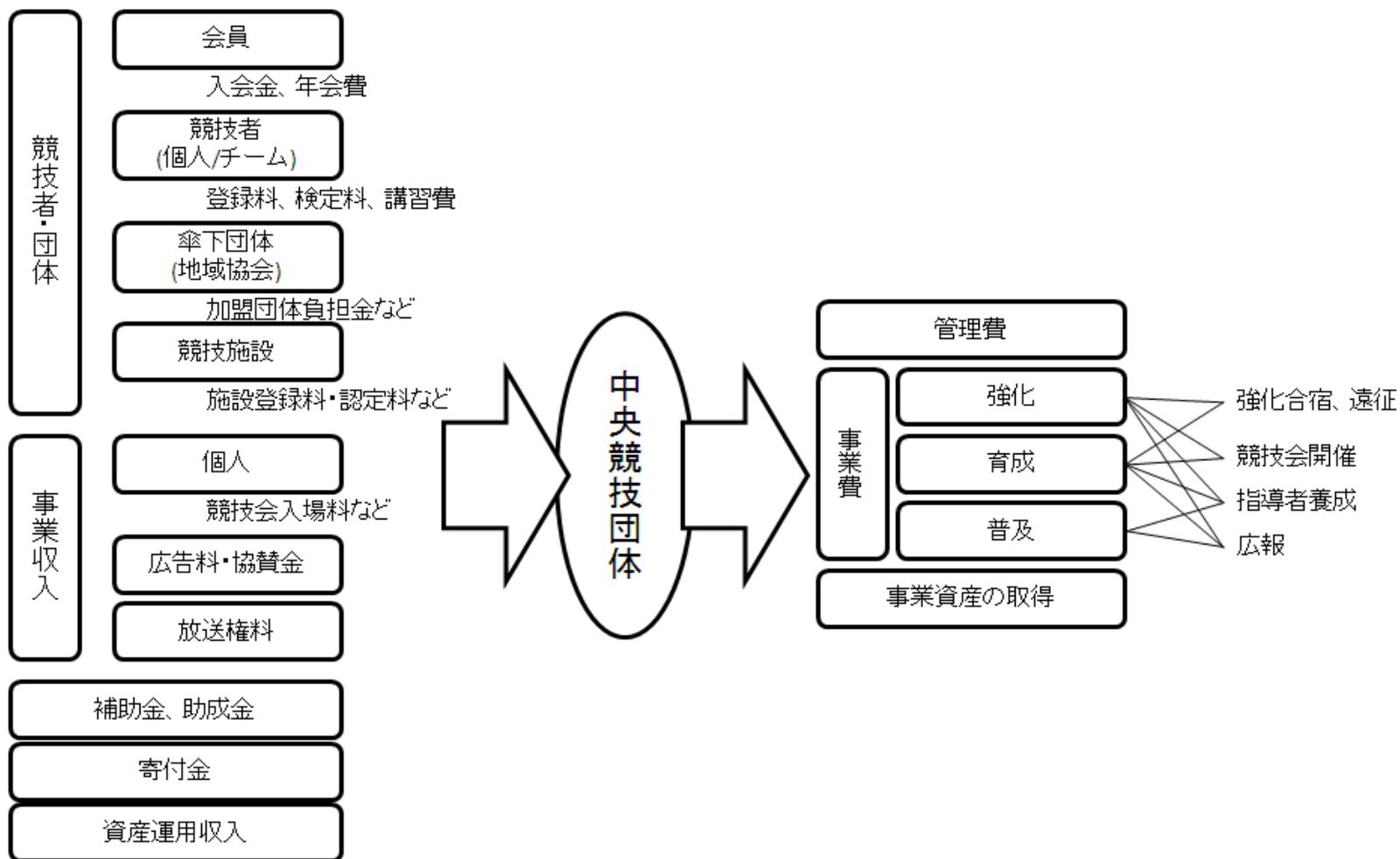


男性



女性

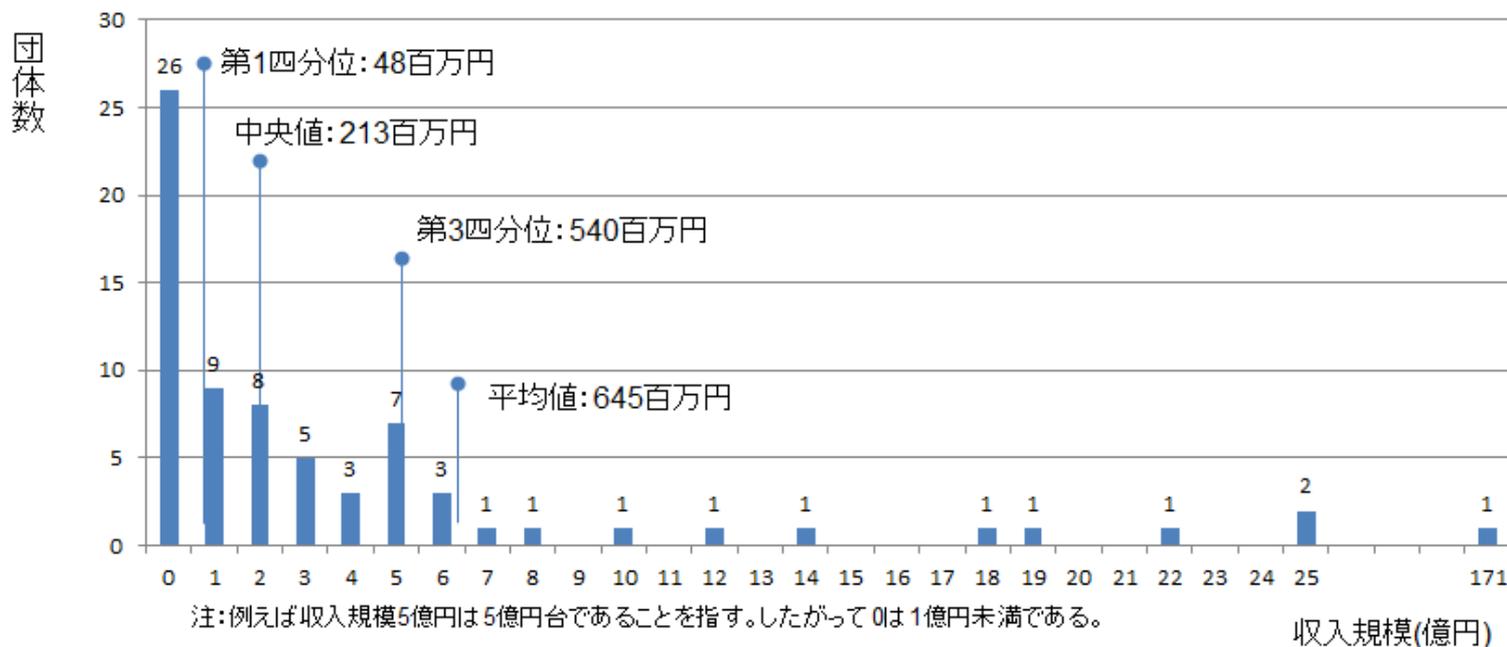
Ⅲ 予算



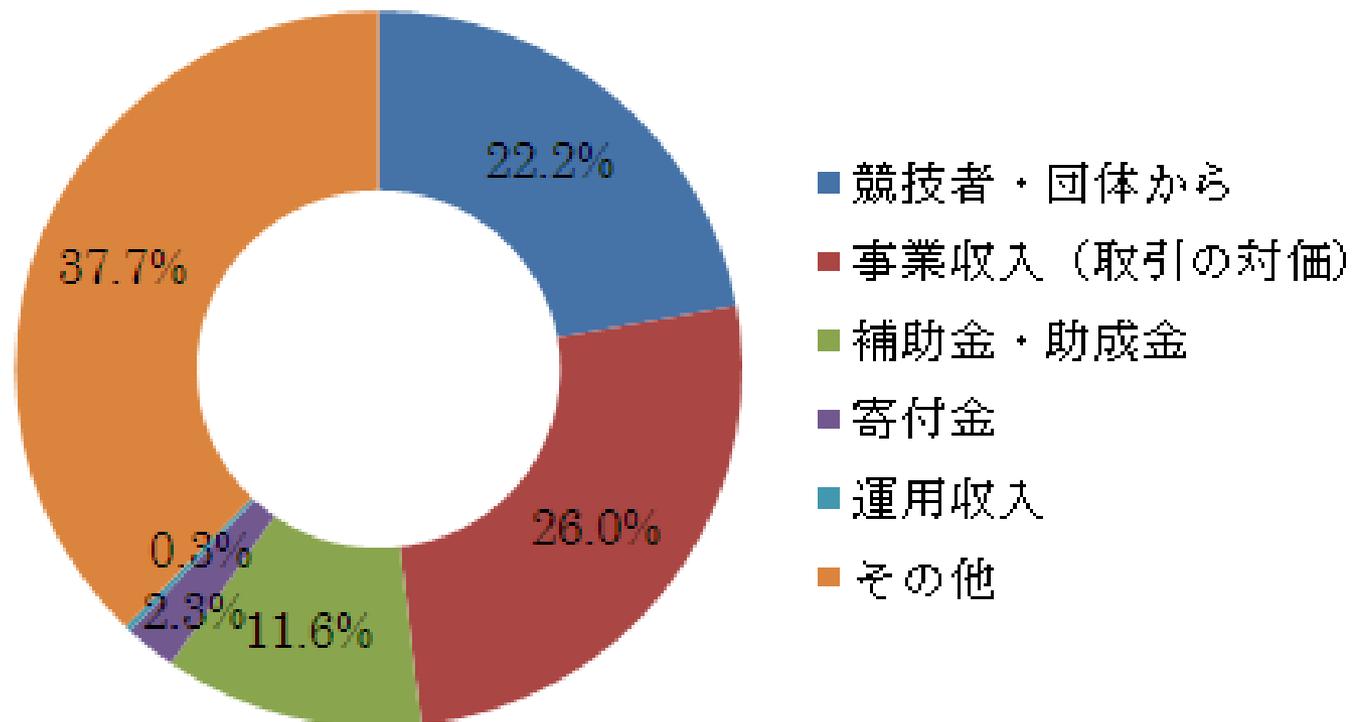
中央競技団体の収支構造 (イメージ)

収入規模

- 平均：6億45百万円
- 中央値：2億13百万円
- 1億円未満が26団体
- 72団体合計で464億円



収入構成



支出構成

